

(前頁より)

キーワード

「いついつに流れの变化を、基くT型フォードというクルマをまた上で、数年間で戻って、いろいろなキーワードがはやってたと思うのです。ソフト化、サービスタというキーワードですが、その他にも、脱産業、成熟情報化、豊かな知的革命、柔らかい個人主義、電通の小衆、博覧強記の分衆が、個人でクルマを運転して、ドなどいろいろなキーワードが飛びかアからドアへ移動するようになっていました。そのキーワードひとつひとつ比較してみると、エッセンスというポイントというか、核心というか、それらのキーワードの本当に言いたかったとは何かと、どれもほとんど同じことを言っていたのではないかと。ただそのことが何かという、いまひとつはつきりしない。言葉がカッコ良すぎて、議論が浮わってぼやけるというところはとどきとどき起ると思いますが、このケースもまさにその例だと思えます。

ですから、一番わかりやすい言葉、ひと言でいうと、私は「いきまわり」という言葉が一番良かったのではないかと。それで何がいきまわったかと、20世紀前半にアメリカ人が作ったライフスタイルがいきまわったと考えています。商品はいまひとつクルマで、もうひとつが連続の家電製品だと思えます。ヨーロッパ人はクルマを金持のせいにく品だと信じて疑わなくて、20世紀前半にハンリーフォードという天才が現われて、クルマは一般大衆の必需品であると考えたわけです。クルマという商品コンセプトを180度ひっくり返したと思えます。自分の新しいコンセプトに

よくな気がするんです。そういうような20世紀前半にアメリカ人が作ったライフスタイルが、20世紀後半、戦後になってきて、西ヨーロッパと日本に伝わってきて怒涛の勢いで一挙に普及してしまっただけで、いままでは地球上のすべての人々が、生活の一番手な部分、一番主要な部分で、全部アメリカ人のマネをしたという方がよいと思えます。

と、日本で三種の神器がとんだんその延長線上でやること普及とヒックが昭和30年、40年とがなくなっていくというの、

と、生活が目に見えて豊かになる。楽になる。生活水準があがっていく。強烈な実感があつたと思えます。

ところが、だんだん欲しいものは全部買ってしまった、いきまるとは買いたくないものがあるという意味です。買ひ替えはやりませんが、欲しいものはだいたい手に入れたから、満ちた気持ちはありますが、同時にやりやうら感じになるというのがいきまわりだと思えます。いきまわりを企業の人たちからいうと、もう少しい

で、電気洗濯機、電気冷蔵庫、白黒テレビ、40年代が三Cで、カー、クーラー、カラーTVで合計六個もあつますが、一個がクルマで五個が家電製品です。しかも、いかにすればらしいライフスタイルでも、20年もつづけている

三種の神器

と、生活が目に見えて豊かになる。楽になる。生活水準があがっていく。強烈な実感があつたと思えます。

ところが、だんだん欲しいものは全部買ってしまった、いきまるとは買いたくないものがあるという意味です。買ひ替えはやりませんが、欲しいものはだいたい手に入れたから、満ちた気持ちはありますが、同時にやりやうら感じになるというのがいきまわりだと思えます。いきまわりを企業の人たちからいうと、もう少しい

で、電気洗濯機、電気冷蔵庫、白黒テレビ、40年代が三Cで、カー、クーラー、カラーTVで合計六個もあつますが、一個がクルマで五個が家電製品です。しかも、いかにすればらしいライフスタイルでも、20年もつづけている

と、生活が目に見えて豊かになる。楽になる。生活水準があがっていく。強烈な実感があつたと思えます。

ところが、だんだん欲しいものは全部買ってしまった、いきまるとは買いたくないものがあるという意味です。買ひ替えはやりませんが、欲しいものはだいたい手に入れたから、満ちた気持ちはありますが、同時にやりやうら感じになるというのがいきまわりだと思えます。いきまわりを企業の人たちからいうと、もう少しい

で、電気洗濯機、電気冷蔵庫、白黒テレビ、40年代が三Cで、カー、クーラー、カラーTVで合計六個もあつますが、一個がクルマで五個が家電製品です。しかも、いかにすればらしいライフスタイルでも、20年もつづけている

と、生活が目に見えて豊かになる。楽になる。生活水準があがっていく。強烈な実感があつたと思えます。

と、生活が目に見えて豊かになる。楽になる。生活水準があがっていく。強烈な実感があつたと思えます。

ところが、だんだん欲しいものは全部買ってしまった、いきまるとは買いたくないものがあるという意味です。買ひ替えはやりませんが、欲しいものはだいたい手に入れたから、満ちた気持ちはありますが、同時にやりやうら感じになるというのがいきまわりだと思えます。いきまわりを企業の人たちからいうと、もう少しい

で、電気洗濯機、電気冷蔵庫、白黒テレビ、40年代が三Cで、カー、クーラー、カラーTVで合計六個もあつますが、一個がクルマで五個が家電製品です。しかも、いかにすればらしいライフスタイルでも、20年もつづけている

と、生活が目に見えて豊かになる。楽になる。生活水準があがっていく。強烈な実感があつたと思えます。

ところが、だんだん欲しいものは全部買ってしまった、いきまるとは買いたくないものがあるという意味です。買ひ替えはやりませんが、欲しいものはだいたい手に入れたから、満ちた気持ちはありますが、同時にやりやうら感じになるというのがいきまわりだと思えます。いきまわりを企業の人たちからいうと、もう少しい

で、電気洗濯機、電気冷蔵庫、白黒テレビ、40年代が三Cで、カー、クーラー、カラーTVで合計六個もあつますが、一個がクルマで五個が家電製品です。しかも、いかにすればらしいライフスタイルでも、20年もつづけている

と、生活が目に見えて豊かになる。楽になる。生活水準があがっていく。強烈な実感があつたと思えます。

まして、面紙はある時期はハイテクのこころか書いてない時期があつたんですね。私も仕事と関係があるのでも一生懸命、読んでますね。

しかし、さっぱりわからない記事が次から次へと出てきたんです。あのころのあの種の記事は書か本人がわからず書いてるから読者にわかるはずがない記事が次から次へと出てきたというところだろつと思えます。これは悪口を言つていっているのではなくて、フィードバックを言つていっていることだろつと思えます。

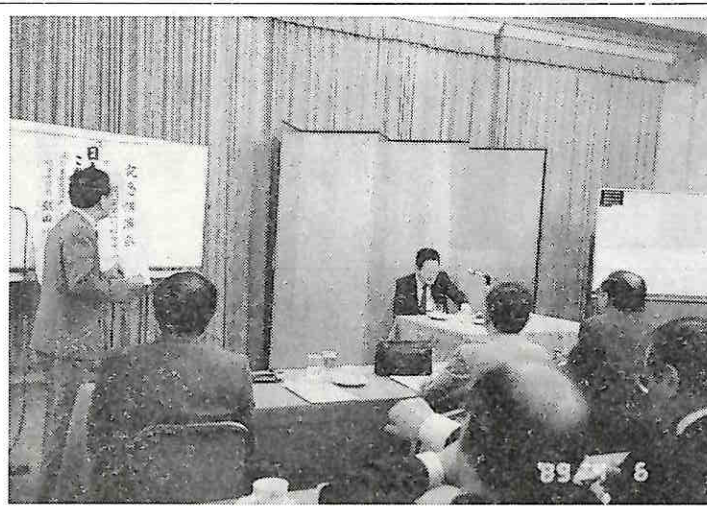
で、去年かおとしにまます殺しをやった形跡がある。だいた、INSというのとは和製英語として、あれに類する国際用語として、INS(総合デジタル通信網)なんです。最近NTTはINSという言葉をまっ殺したんですね。つまりINSの実験は失敗したんですね。

な甘失敗したかというところ、私の解釈では技術屋さんの独断だったからではないかと思えます。

で、まだINSの実験の前に私が電々公社の方に伺ったところ、INSで何が出来るんですかと聞くと、ホームバンク、ホームショッピング、宿の予約からすべて自宅に居ながら出来る。つまり外出しなくても済む。だからすばらしいですよという説明だったんです。

私がおやつと思つたのは、電々公社のこの通りにやると、朝から晩まで自宅にじつとすわつていなくてはいけません。こんなことおしいことではないんです。

これは明らかに理科系の人の発



ハイテク

それはハイテクのハイテクに注いで、フクシマという機械は皆さんの会社には、とくに入つていて、あれが入つたおかげで仕事のやり方が大きく変わったと思えます。あれがないといままでは仕事やりやうら感じがないんですが、フクシマの泣きとどろは家庭に入つてなかつたんですね。

(前頁より)
想で人間の心を考えてないんです
ね。
話は変わりますが、若い人の意
見も聞かなくてはならないと、独
身のサラリーマンはいま留守番
電話が必要品になってくるんです
ね。それから高輪プリンスホテル
のような超一流ホテルのスイート
ルームでパーティーをやると、タ
ワチチェックインして翌日のお昼ま
で使えるので、二次会・三次会の
幹事がチェックインしてルームナ
ンバーを各メンバーの留守番電話
にいつせいにかける。それを出先
から各自が留守番電話にかけて確
かめる。で、六時頃にそのスイー
トルームに集合できるというん
ですね。

これは先ほどのINSとまったく
逆の現象ではなかったかと思っ
たんですね。
みんながどこに居るかわから
ないから留守番電話を使って確
定して見ようというんです。



講演会 飯田 経夫氏

心配がない。食べ物や飲み物を持
ちこむと、20人くらい集めると安
くあつて一人四千円くらいで済
む。だから流行っているんですが
が、このパーティーの形式のた
ひとつの欠点はチェックインした
ときでなければルームナンバーが
わからないんですね。それを留守
番電話で解決したんです。つまり

挑戦するわけですから、10個と15
個のうち1個成功すれば大成功な
んでですね。いまの留守番電話の
先が見えかけたような気がするん
ですね。
「二階聴ありがどうございました。
いすれにしても「いきま」」
(平成元年四月六日木鶏会総会記
は議論してもなかなか打破でき
念講要旨抜粋)

短期技能講習会

やさしい図面の見方

大塚正利氏
図面の役割・投影の仕方・JIS
各種記号など図面を見よう
えで必要な基礎知識の修得を
目的とします。

日時
八月二十一日～二十五日(五日
間)午後六時～九時
会場
大田区産業会館三階第四集會室
講師
都立羽田工業高校教諭

短期技能講習会

品質管理・初級

講師
中小企業がかかっている品質管
理 コストダウン・短期間など
職場の様々な問題について
今回は品質管理手法の初級講座
です。

日時
九月四日～八日(五日間)
午後六時～九時
会場
大田区産業会館三階第四集會室

短期技能講習会

ワープロ①

主催
東京都立大田高等職業技術専門
校(以下同じ)
校(以下同じ)
実施期間
九月二十六日～九月二十七日
(火・水曜)
九月九日～九月十四日九時～十
九時(以下同じ)
実施場所(以下同じ)

東京都立大田高等職業技術専門
校(大田区本羽田三～四～三〇
電話七四四局一〇二三)
定員・受講料
三十名 二千円。
甲込受付
九月一日～九月十四日九時～十
九時

短期技能講習会

ワープロ②

校(大田区本羽田三～四～三〇
電話七四四局〇二九)
実施期間
九月二十八日～九月二十九日
(木・金曜)
九月九日～九月十四日九時～十
九時
定員・受講料
三十名 二千円。
甲込受付
九月一日～九月十四日九時～十
九時

短期技能講習会

トレース検定

実施期間
十月三日～十月六日(火～金曜)
十八時〇〇～二十一時十分
定員・受講料
二十五名 千円
甲込受付
九月四日～九月十二日九時～
十九時

短期技能講習会

立体図面の描き方初級

実施期間
十月十二日～十一月一日(木・
金曜)七日間 十八時十五分～
二十時三十分
定員・受講料
二十五名 千円
甲込受付
九月四日～九月十二日九時～
十九時



経営ウイークリー

東京都中小企業団体中央会企画
・東京都労働経済局提供の毎週日
曜日午前七時からテレビ東京(十
二チャンネル)から放映されてい
る「経営ウイークリー」の八月・
九月の予定番組は左のとおり(こ
視聴下さい)
八月六日(日)
「どう読む 平成時代」
夏の間経営セミナー
亜細亜大学教授 長島俊男氏
菅野院大学講師 江口泰広氏

八月十三日(日)
「どう読む 平成時代」
八月二十日(日)
「どう読む 平成時代」
八月二十七日(日)
「どう読む 平成時代」
九月三日(日)
「経営トビックス」
「経営トビックス」
中小企業に関連した産業・流
通の話題を第一線記者や専
門家のリードによって追跡。
九月十日(日)
「皮革服装製造業」
新商品開発事業・需要の開拓
・人材の育成事業等に取り組
んでいる東京の皮革服装製造
業。
九月十七日(日)
「広がる二十四時間ビジネス」



将菜等潤した都市づくりの
二十四時間ビジネス業を採っ
てみる。
九月二十四日(日)
「異業種連合で統一ブランド」
中小と大手の異業種連合によ
る統一ブランド作戦に注目し
動きを探る。



組合員だより

代表者
岡田飯金株式会
社(大田区新蒲
田一三二一)
△では代表者
が左のとおり変
わりましたので
お知らせします。
旧代表者 岡田 清氏(会長)
新代表者 増田道造氏
計 報
杉谷まさ氏 本組合常任理事杉
谷順弘氏(大田区矢口一三三)
二杉谷金属工業株式会社代表者
の母堂は 永らく病氣療養中
のとうろ病石効なく去る二月八日
逝去されました。
ここに謹んでお知らせ申し上げ
てお礼を申し上げます。
増田道造氏 本組合理事増田
道造氏(大田区新蒲田一三二一)
一八岡田飯金株式会社 の代表者
は、かねてより病氣療養中にと
ろ病石効なく去る五月五日逝
去されました。
ここに謹んでお知らせ申し上げ
てお礼を申し上げます。
工藤アサコ氏 本組合理事工藤
勝広氏(厚木市上依知三〇二株
式会社内田製作所)の母堂は、
永らく病氣療養中にとろ、粟
石効なく去る六月四日逝去され
ました。
ここに謹んでお知らせ申し上げ
てお礼を申し上げます。
一時 移 転
三津浜工業株式会社(代表者木
々津栄一氏)では社屋改装のため
本年末迄に一時移転しますのでお
知らせ申し上げます。
川崎市川崎区南町一九一
電話 七三三七四二一
代表者 変 更
多田プレス工業株式会社(神奈
川) (次頁へ)

「アイデアコンテスト」活動事
例をみる
種類別にみた諸手当の支給標準
と支給額
業務・通勤災害に対する法定外
補償の水準
定年到達前の処理と再雇用制度
の実態
最近の慶弔見舞金と慶弔休職の
実情をみる
好況下における平成元年度決定
初任給
曲がり角にきた企業の持家対策
「退職金・年金事情」(平成元
年版)
「年間賞金・賞与の実態」平成
元年版 労務行政研究所編
「賞金 労務ガイドブック」
全国中小企業団体中央会編

業務報告

(前頁より)
川俣泰野市(豊九七)では代表者が左のとおり変りましたのでお知らせします。
旧代表者 多田 清氏(会長)
新代表者 多田嘉之氏
社名変更 多田嘉之氏
有限会社青木製作所(大田区大森西三二七二五)では社名を左のとおり変更されましたのでお知らせします。
新社名 有限会社大森青木建設

蒲田工業協同組合の木鶏会青年部では経営者又は経営に携わる者並びに将来経営に携わる者で四十
青年部へ
ご加入下さい
一月五日 仕事始め
一月五日 機関紙「工業蒲田」
新年号発行
新年記事
年頭「挨拶」(理事長千葉博氏)。
新春放談あれこれ。
初級簿記講習会。
労働講座。
組員たより。
図書室たより。
図書室たより。
「こぼの泉」(鏡開き)。
業務報告。
組員有志新年挨拶。
一月七日 昭和三十九年下御願。
一月八日 年号を「平成」に改む。
一月十日 機関紙「工業蒲田」速報版発行
主な記事
第十八回東国臨見本市出品
してみませんか。
節税教室。
冬季経営セミナー。
「生産工場へのパワーエレクト

五才未満の方の加入をお勧めして
います。目的は経営陣の資質の向上を図り、企業の体質改善の資に供するとともに、会員相互の情報交換、連絡協調、親善を図り地域工業ひいては地域社会の発展に寄与することです。次年度の事業を行います。
一、資質向上のための講演会、講習会、見学会等の開催
二、経営各般に関する調査、研究並びに資料の配布
三、情報交換、連絡協調、親善を図るための行事開催
四、その他本会の目的達成のための事業
詳細につきましては事務局へお電話下さい(七三三)七八二二

ロニクス導入技術(長期講習会)自動車ローンは組合。
一月十日 新春講演会
テーマ「本年の景況と企業経営」
講師 経済評論家・国際エコー ミスト 長谷川慶太郎氏
一月十日 新年懇談会
一月十五日 谷中七福神初詣(木鶏会)
一月十七日 青年部経営サロン(木鶏会)
主な話題
本年の抱負。
韓国視察報告。
定例経営サロンへの出席。
二月一日 機関紙「工業蒲田」速報版発行
主な記事
労働講座。
短期技術講習「グライNDER作業の安全」。
技術指導講習会「アーク溶接の特別教育」。
技術指導講習会「やさしい図面の見方」。
二月一日 正副会長会議(木鶏会)

1、昭和六十二年度事業報告・決算報告について
原案をとり可決。
2、平成元年度事業計画案・収支予算案について
原案をとり可決。
3、創立二十五周年記念事業について
石森副会長に二任することに決定。
4、幹事会開催日時について
三月一日(水)午後四時～六時と決定。
5、第九回通常総会開催について
左のとおり決定。
日時「四月五日(水)～七日(金)の間(講師の都合による)」。総会「午後三時～四時」講演会「午後四時～六時」。二十五年周年記念祝賀会「午後六時～八時」。場所「高輪アリスホテル」又は東急イン。講演会講師「柳田邦男氏又は飯田経夫氏。祝賀会費「石森副会長に一任。左のとおり決定。
6、二月朝食会について
日時「二月十五日(水)午前七時～九時。場所「高輪アリスホテル」。担当「新井陽一氏又は中村国男氏。
7、五月研究会講師について
柳田邦男氏又は飯田経夫氏のいずれかに決定。
8、海老名監査役辞任について
任期中はお願いすることに決定。本人了承。
二月一日 定例経営サロン(木鶏会)
テーマ「消費税について」
講師 エビナ電化工業(株) 専務 海老名 正教氏
二月六日 「中小企業資金・退職金事情」配布。
二月九日 正副会長会議(木鶏会)
1、第九回通常総会時・講師等

左のとおり決定
日時「平成元年四月六日(水)午後三時～四時」総会、午後四時～六時講演会、午後六時より二十五年周年祝賀会。場所「高輪アリスホテル」梅の間、桐・麿香の間
記念講演「日本経済の動向とこれからの中小企業」名古屋経済大学経済学部教授・経済学部長飯田経夫氏。
四月朝食会について
四月二十六日に中村国男氏に担当して貰うことに決定。
3、五月研究会講師について
斎藤善三郎氏にお願いすることに決定。
4、創立二十五周年記念祝賀会費について
一万七千円と決定。
二月十五日 朝食会(木鶏会)

親父の生きさま。
二月二十一日 青年部経営サロン(木鶏会)
主な話題
韓国中小企業視察報告。
木鶏会創立二十五周年記念祝賀会について
三月青年部経営サロンについて
二月二十三日 消費税実務講座
講師 長島会計事務所 石川 啓介氏
二月二十七日 技術講習会「アーク溶接」(学科)
講師 伊藤建設株式会社技術研究所 阿部 義男氏
二月二十八日 技術講習会「アーク溶接」(学科)
三月一日 幹事会(木鶏会)
昭和六十二年事業報告・決算報告について

左のとおり決定
日時「四月二十六日(水)午前七時。場所「高輪アリスホテル」孔雀・鳳凰の間。担当「齋藤善三郎氏」又は中村国男氏。
5、五月研究会について
齋藤善三郎氏(元「愛勤務」を予定している)を報告、全員了承。
6、創立二十五周年記念祝賀会について
7、戸上専務理事辞任について
三月一日 技術講習会「アーク溶接」(学科)
三月一日 定例経営サロン(木鶏会)
主な話題
借地借家法改正案について。
消費税について。
物物業について。
三月二日 技術講習会「アーク溶接」(学科)
三月六日 技術講習会「アーク溶接」(実技)
三月七日 技術講習会「アーク溶接」(実技)
三月八日 技術講習会「アーク溶接」(実技)

原案をとり可決。
予算案について
原案をとり可決。
第九回通常総会について
左のとおり決定。
日時「平成元年四月六日(水)午後三時～四時」総会、午後四時～六時講演会、午後六時より創立二十五周年記念祝賀会。場所「高輪アリスホテル」梅の間(総会・講演会、桐・麿香の間(祝賀会)。
講演会「日本経済の動向とこれからの中小企業」名古屋経済大学経済学部教授・経済学部長飯田経夫氏。祝賀会費「一万七千円」。
四月朝食会について
左のとおり決定。
日時「四月二十六日(水)午前七時。場所「高輪アリスホテル」孔雀・鳳凰の間。担当「齋藤善三郎氏」又は中村国男氏。
5、五月研究会について
齋藤善三郎氏(元「愛勤務」を予定している)を報告、全員了承。
6、創立二十五周年記念祝賀会について
7、戸上専務理事辞任について
三月一日 技術講習会「アーク溶接」(学科)
三月一日 定例経営サロン(木鶏会)
主な話題
借地借家法改正案について。
消費税について。
物物業について。
三月二日 技術講習会「アーク溶接」(学科)
三月六日 技術講習会「アーク溶接」(実技)
三月七日 技術講習会「アーク溶接」(実技)
三月八日 技術講習会「アーク溶接」(実技)

左のとおり決定
日時「四月二十六日(水)午前七時。場所「高輪アリスホテル」孔雀・鳳凰の間。担当「齋藤善三郎氏」又は中村国男氏。
5、五月研究会について
齋藤善三郎氏(元「愛勤務」を予定している)を報告、全員了承。
6、創立二十五周年記念祝賀会について
7、戸上専務理事辞任について
三月一日 技術講習会「アーク溶接」(学科)
三月一日 定例経営サロン(木鶏会)
主な話題
借地借家法改正案について。
消費税について。
物物業について。
三月二日 技術講習会「アーク溶接」(学科)
三月六日 技術講習会「アーク溶接」(実技)
三月七日 技術講習会「アーク溶接」(実技)
三月八日 技術講習会「アーク溶接」(実技)

原案をとり可決。
予算案について
原案をとり可決。
第九回通常総会について
左のとおり決定。
日時「平成元年四月六日(水)午後三時～四時」総会、午後四時～六時講演会、午後六時より創立二十五周年記念祝賀会。場所「高輪アリスホテル」梅の間(総会・講演会、桐・麿香の間(祝賀会)。
講演会「日本経済の動向とこれからの中小企業」名古屋経済大学経済学部教授・経済学部長飯田経夫氏。祝賀会費「一万七千円」。
四月朝食会について
左のとおり決定。
日時「四月二十六日(水)午前七時。場所「高輪アリスホテル」孔雀・鳳凰の間。担当「齋藤善三郎氏」又は中村国男氏。
5、五月研究会について
齋藤善三郎氏(元「愛勤務」を予定している)を報告、全員了承。
6、創立二十五周年記念祝賀会について
7、戸上専務理事辞任について
三月一日 技術講習会「アーク溶接」(学科)
三月一日 定例経営サロン(木鶏会)
主な話題
借地借家法改正案について。
消費税について。
物物業について。
三月二日 技術講習会「アーク溶接」(学科)
三月六日 技術講習会「アーク溶接」(実技)
三月七日 技術講習会「アーク溶接」(実技)
三月八日 技術講習会「アーク溶接」(実技)

原案をとり可決。
予算案について
原案をとり可決。
第九回通常総会について
左のとおり決定。
日時「平成元年四月六日(水)午後三時～四時」総会、午後四時～六時講演会、午後六時より創立二十五周年記念祝賀会。場所「高輪アリスホテル」梅の間(総会・講演会、桐・麿香の間(祝賀会)。
講演会「日本経済の動向とこれからの中小企業」名古屋経済大学経済学部教授・経済学部長飯田経夫氏。祝賀会費「一万七千円」。
四月朝食会について
左のとおり決定。
日時「四月二十六日(水)午前七時。場所「高輪アリスホテル」孔雀・鳳凰の間。担当「齋藤善三郎氏」又は中村国男氏。
5、五月研究会について
齋藤善三郎氏(元「愛勤務」を予定している)を報告、全員了承。
6、創立二十五周年記念祝賀会について
7、戸上専務理事辞任について
三月一日 技術講習会「アーク溶接」(学科)
三月一日 定例経営サロン(木鶏会)
主な話題
借地借家法改正案について。
消費税について。
物物業について。
三月二日 技術講習会「アーク溶接」(学科)
三月六日 技術講習会「アーク溶接」(実技)
三月七日 技術講習会「アーク溶接」(実技)
三月八日 技術講習会「アーク溶接」(実技)

接(実技)
三月九日 景況調査
三月十日 監査(木鶏会)
三月十四日 常任理事会
1、組合の消費税について
2、職員昇進・昇給について
3、平成元年度予算について
4、常任理事会・理事会の日程について
5、総会開催について
三月二十二日 青年部経営サロン(木鶏会)
主な話題
コンヒュークと拒否反応について。
ベースアップについて。
二十五周年記念祝賀会における青年部の役割について。

接(実技)
三月九日 景況調査
三月十日 監査(木鶏会)
三月十四日 常任理事会
1、組合の消費税について
2、職員昇進・昇給について
3、平成元年度予算について
4、常任理事会・理事会の日程について
5、総会開催について
三月二十二日 青年部経営サロン(木鶏会)
主な話題
コンヒュークと拒否反応について。
ベースアップについて。
二十五周年記念祝賀会における青年部の役割について。

三月二十七日 技術講習会「やさしい図面の見方」
講師 東京都立羽田工業高校 大塚 正利氏
三月二十八日 技術講習会「やさしい図面の見方」
三月二十九日 技術講習会「やさしい図面の見方」
三月三十日 技術講習会「やさしい図面の見方」
三月三十一日 技術講習会「やさしい図面の見方」
四月六日 第九回通常総会(木鶏会)
1、昭和六十二年事業報告・決算報告承認の件
2、平成元年度事業計画案・収支予算案承認の件
以上原案通り全員異議なく承認可決。
(次頁へ)

三月二十七日 技術講習会「やさしい図面の見方」
講師 東京都立羽田工業高校 大塚 正利氏
三月二十八日 技術講習会「やさしい図面の見方」
三月二十九日 技術講習会「やさしい図面の見方」
三月三十日 技術講習会「やさしい図面の見方」
三月三十一日 技術講習会「やさしい図面の見方」
四月六日 第九回通常総会(木鶏会)
1、昭和六十二年事業報告・決算報告承認の件
2、平成元年度事業計画案・収支予算案承認の件
以上原案通り全員異議なく承認可決。
(次頁へ)



創立四十周年祝賀会にて



木鶏会創立二十五周年祝賀会にて

(前頁より)

四月六日 研究会(木鶏会)
テーマ「日本経済の動向とこれからの中小企業」
講師 名古屋経済大学経済学部教授 飯田経夫氏

四月六日 懇談懇親会(木鶏会)
於高輪プリンスホテル
四月十八日 青年部経営サロン(木鶏会)

本社株の譲渡について
税務調査と節税について
新入社員の手帳について

四月二十日 常任理事会
1、昭和六十三年度事業報告・決算報告・損失金処理案について
2、平成元年度事業計画案・収支予算案(風課金額とその徴収方法を含む)について

3、平成元年度借入最高限度額・一組員に対する貸付最高限度額・手数料最高限度について
以上三々原案通り全員異議なく可決。

四月二十日 理事会
1、昭和六十三年度事業報告・決算報告・損失金処理案について
2、平成元年度事業計画案・収支予算案(風課金額とその徴収方法を含む)について

3、平成元年度借入最高限度額・一組員に対する貸付最高限度額・手数料最高限度について
以上三々原案通り全員異議なく可決。

四月二十日 理事会
1、昭和六十三年度事業報告・決算報告・損失金処理案について
2、平成元年度事業計画案・収支予算案(風課金額とその徴収方法を含む)について

3、平成元年度借入最高限度額・一組員に対する貸付最高限度額・手数料最高限度について
以上三々原案通り全員異議なく可決。

四月二十日 理事会
1、昭和六十三年度事業報告・決算報告・損失金処理案について
2、平成元年度事業計画案・収支予算案(風課金額とその徴収方法を含む)について

3、平成元年度借入最高限度額・一組員に対する貸付最高限度額・手数料最高限度について
以上三々原案通り全員異議なく可決。

四月二十日 理事会
1、昭和六十三年度事業報告・決算報告・損失金処理案について
2、平成元年度事業計画案・収支予算案(風課金額とその徴収方法を含む)について

3、平成元年度借入最高限度額・一組員に対する貸付最高限度額・手数料最高限度について
以上三々原案通り全員異議なく可決。



組合祝賀会にて

木鶏会祝賀会にて

6、海老名理事辞任について
任期満了まで留任に決定。

7、戸上事務局長控職について
戸上事務局長を辞職、後任に正田竜三の就任を決定。

四月二十六日 朝食会(木鶏会)
主な話題
赤十字社の引継ぎについて。
従業員対策と資金繰りについて。

五月十日 監査
台湾・米國進出について。

五月十日 定例経営サロン(木鶏会)
主な話題
親企業の海外進出と空洞化について。
外人研修生の採用と罰則について。

外 中途採用者の待遇について
若年層とコンヒュータについて
五月十六日 青年部経営サロン(木鶏会)
主な話題
脱自動車について

親企業の合理化要求について
適正規模について
五月二十五日 第四十回通常総会
1、昭和六十三年度事業報告承認の件
2、昭和六十三年度決算報告承認の件

3 昭和六十三年度損失金処理案承認の件
4、平成元年度事業計画案承認の件
5、平成元年度収支予算案(風課金額及びその徴収方法を含む)

6、平成元年度借入最高限度額決定の件
7、平成元年度一組員に対する貸付最高限度額決定の件
8、平成元年度手数料最高限度決定の件

以上三々原案通り全員異議なく可決決定。
五月二十五日 講演会
テーマ「品質の信頼性向上について」
講師 テクノアドバイザー 斉藤善三郎氏

五月二十五日 創立四十周年記念
懇談懇親会
五月二十六日 機関紙「工業蒲田」連報版発行
主な話題
短期技能講習会「クラインター作業の安全」(品質管理(初級))

「塗装」
最低賃金のお知らせ
夏季宿泊施設利用のお知らせ
第四十回通常総会決議報告
節税教室のお知らせ

六月七日 正副会長会議(木鶏会)
朝食会について
工場見学について
納涼サロンについて
六月七日 定例経営サロン(木鶏会)
主な話題
若年層採用について
外国人労働者の雇用について
単純作業と身障者の採用について

大企業と中小企業の労働力について
空洞化の進行について

六月二十日 青年部経営サロン(木鶏会)
主な話題
QCサークルと低辺のレベル引上げについて
技術者・単純労働者の不足について
従業員の高齢化について
役員間の融和とやる気について

組合祝賀会にて

木鶏会祝賀会にて

暑中お見舞申上げます

蒲田工業協同組合 (五十音順)

- 理事長 千葉 博
- 副理事長 石森 憲
- 常任理事 岡田 清
- 常任理事 赤井 弘志
- 常任理事 市川 宗紘
- 常任理事 杉谷 順弘
- 常任理事 西ヶ谷 勝美
- 常任理事 尼ヶ谷 春一
- 常任理事 川瀬 純一
- 常任理事 工藤 皓広
- 常任理事 戸上 皓司
- 常任理事 富田 耕平
- 常任理事 鳥海 保男
- 常任理事 長坂 基秀
- 常任理事 西野 三郎
- 常任理事 野口 広
- 常任理事 早崎 享一
- 常任理事 古川 一安
- 常任理事 増田 道造
- 常任理事 海老名 正教
- 常任理事 豊田 厚
- 常任理事 正田 龍三

暑中御見舞申上げます

蒲田工業協同組合員有志

(五十音順)

機械器具製造業

- 尼寺空圧工業株式会社 代表取締役 尼寺春一
- 合資会社 大津鉄工所 代表取締役 大津暢
- 株式会社 弘機商會 代表取締役 坪根育代
- 坂口精密工業株式会社 代表取締役 坂口俊夫
- テイ・ヴィ・バルブ株式会社 代表取締役 竹内栄多
- 東 亜 株式会社 代表取締役 田村栄二郎
- 株式会社 東京精密機器具製作所 代表取締役 西ヶ谷 静司
- 有限会社 巴精工所 代表取締役 武市孝雄
- 長坂精機株式会社 代表取締役 長坂基秀
- 日本チエンギヤ―無段変速機株式会社 代表取締役 加藤進弘
- 有限会社 蓮沼機械製作所 代表取締役 佐久間 庄吉
- 有限会社 早崎製作所 取締役社長 早崎享一郎
- 深尾精機株式会社 代表取締役 深尾 忠
- 藤田工業株式会社 代表取締役 藤田雅康
- 株式会社 藤原製作所 代表取締役 藤原 長作
- 合資会社 古川機械製作所 代表取締役 古川一安

電気機械器具製造業

- 株式会社 文 化 精 工 代表取締役 桑原久直
- 株式会社 妙 代表取締役 伊勢養治
- 株式会社 山田精機製作所 代表取締役 山田重利
- 出雲電機株式会社 代表取締役 雲野和信
- 株式会社 小林電機製作所 代表取締役 小林竹平
- 太産工業株式会社 代表取締役 千葉 博
- 株式会社 東 電 舎 代表取締役 石森 憲蔵
- 株式会社 中山電機工業社 代表取締役 中山 致
- 永森電機株式会社 代表取締役 永森 忠夫
- 株式会社 日 産 電 機 代表取締役 中村 国男
- 株式会社 ユタカ製作所 代表取締役 佐藤 恒徳
- 岩佐工機株式会社 代表取締役 岩佐 勇
- 江崎工業株式会社 代表取締役 江崎 武
- 荏原工業株式会社 代表取締役 長井俊樹
- 株式会社 大谷造機所 代表取締役 大谷 文雄

輸送用機械器具製造業

- 株式会社 東京スピンドル製作所 代表取締役 堀井 脩市
- 株式会社 鳥海製作所 代表取締役 鳥海保男
- 西野機械工業株式会社 代表取締役 西野三郎
- 日本中空鋼株式会社 代表取締役 市川宗純
- 株式会社 日 伸 製作所 代表取締役 富田耕平
- 金属製品製造業
- 株式会社 旭川製作所 代表取締役 武田 弘
- 佐々木発条株式会社 代表取締役 佐々木 良彦
- シンドー工業株式会社 代表取締役 信藤 秀夫
- 第一シャーリング工業株式会社 代表取締役 福島喜勝
- トヤマ機器工業株式会社 代表取締役 能登 厚
- 同 和 発 条 株式会社 代表取締役 川島 慎治
- 株式会社 羽田パイプ製造所 代表取締役 野口 広
- 有限会社 富士精機製作所 代表取締役 荻野 茂
- プレス・鋳金業
- 株式会社 赤井製作所 代表取締役 赤井 弘志
- 株式会社 明石金属製作所 代表取締役 飯田直城
- 株式会社 内田製作所 代表取締役 内田 正勝
- 岡田鋳金株式会社 代表取締役 増田道造
- 株式会社 清川製作所 代表取締役 川瀬 純一

- 株式会社 清水鉄工所 代表取締役 清水重幸
- 多田プレス工業株式会社 代表取締役 多田嘉之
- 大和部品株式会社 代表取締役 今井一博
- 株式会社 東 亜 製作所 代表取締役 古橋 透
- 株式会社 蛭田電機製作所 代表取締役 蛭田好勝
- 株式会社 新井久四郎鉄工所 代表取締役 新井久四郎
- 鍍 金 業
- エビナ電化工業株式会社 代表取締役 海老名 平吉
- 株式会社 三協アルマイト 代表取締役 岩崎 登喜雄
- 鑄物・鍛造業
- 恩田鉄工株式会社 代表取締役 武井 武
- 有限会社 京 浜 鑄造所 代表取締役 神道 晃
- 杉谷金属工業株式会社 代表取締役 杉谷 順弘
- そ の 他
- 有限会社 大森青木建設 代表取締役 青木 武志
- 河原テント株式会社 代表取締役 河原 祥浩
- 株式会社 気 球 製作所 代表取締役 豊間 厚
- 秀和工業株式会社 代表取締役 岡田 邦義
- 株式会社 日 章 機械 代表取締役 小林 章彦
- 炭研精工株式会社 代表取締役 永井 弥太郎
- 有限会社 古川塗装工業所 代表取締役 古川 金一